

1 研究主題

豊かな心もち、主体的に学ぶ子どもの育成
 ~ 思いを伝えあい、人とのかかわりを深める道德の授業づくり ~

2 研究の概要

道德の時間の充実については、講師を招聘した理論研修や授業研究による校内研修、魅力的で多様な道德の授業の構想を図る取り組みを進めています。また、児童の道德性を高める取り組みとして、道德教育の全体構想図に、低・中・高学年ごとの課題を重点目標として反映させ、全校で進めているところです。

主題を設定するにあたり、「児童の心に響く授業をめざし、学習指導の工夫を行えば、児童は人とのかかわりを深め、学校・家庭・地域において道德的实践ができるであろう」と仮説を立て、検証の視点と方法をもとに、仮説の検証、評価を進めているところです。学習指導の工夫として、**道德の時間の充実 総合単元的な道德学習の創造 豊かな体験活動との関連** ゲストティーチャーの活用を考え、人とのかかわりや、地域の人材の生き方から学ぶ学習に取り組んでいます。

3 心に響く道德の授業「ベスト3」

学年	主題名	資料名	
5年生	学校の一員として 4 - (1)	学校を育てる(自作資料)	
ねらい	高学年としての役割や集団の中での自分の位置を自覚し、学校全体を見渡して動こうとする意欲を育てる。		
授業内容	体験活動との関連(運動会「スポーツフェスティバル」との関連) 自作資料の作成 導入でのビデオ活用(係打ち合わせの様子) 6年生からの来年度に向けてのファイル活用		

学年	主題名	資料名	
1年生	家族のためにできること 4 - (2)	いいおぼけ(日本標準)	
ねらい	進んで働く気持ちを育て、家族に対して感謝の心や親愛の情をもつように心情を育てる。		
授業内容	総合単元的な道德学習の創造、生活科との関連 T1とT2の動作化による資料提示 ゲストティーチャー(保護者)の参加 登場人物の心情の変化を表す板書の工夫		

学年	主題名	資料名	
3年生	勇気1 - (4)	二つの声(東京書籍)	
ねらい	正しい心は勇気をもって行おうとする態度を育てる。		
授業内容	資料の脚本をもとに、T1とT2の劇化による資料提示 (T1が主人公の動作、T2がペープサートを活用し二つの声の役をする) 二つの声を対比した板書の工夫 座席の位置の工夫(机を取り除き、半円で向かい合わせる) 終末で、児童の作文(勇気を出してよかった)の紹介		